

【11月8日(土)】12:20-14:20

① 「平和学の方法と実践」分科会

テーマ：「福島原発災害と水俣病問題から考える紛争転換・平和構築の方法」

報告：石原明子（熊本大学）「福島原発災害と水俣病問題に紛争変容・平和構築の視点から関わる——分断、構造的暴力、そして修復的な希望」（仮）

報告：広水乃生（熊本大学、およびコミュニティ・ファシリテーション研究所）「福島原発災害にコミュニティ・ファシリテーションの視点から関わる——対話の会の実践から」（仮）

司会：奥本京子（大阪女学院大学）

② 「憲法と平和」分科会

テーマ：「憲法平和主義の現段階——集団的自衛権行使容認論のインパクト」（仮）

報告：永山茂樹（東海大学）「最近の平和主義論について」（仮）

報告：長谷部貴俊（日本国際ボランティアセンター）「国際協力活動と集団的自衛権」（仮）

司会：小栗実（鹿児島大学）

③ 「東南アジア」分科会

報告：堀芳枝（恵泉女学園大学）「フィリピンBPO産業の成長とジェンダー」

報告：石川和雅（上智大学大学院生）「ミャンマーにおける宗教対立」

報告：堀場明子（上智大学アジア文化研究所）「タイ深南部紛争の和平プロセス」

討論：調整中

司会：日下部尚徳（大妻女子大学）

④ 「環境・平和」・「グローバルヒバクシャ」分科会共催

【11月6日～7日】フィールドワーク「原発に立ち向かう水俣病当事者と支援者」

企画共催：3.11プロジェクト委員会、協力：相思社

水俣市内で実施。6日午後には新水俣駅集合の予定。移動手段手配の関係上、定員10名（先着順）とさせていただきます。6日の相思社での宿泊を含みます。要事前申込。

◆事前申込：平井 akira-h@tkc.att.ne.jp または竹峰 takeminese@hotmail.com まで。

報告：永野いつ香（熊本学園大学大学院生）「水俣市茂道の成立と変化および水俣病発生初期における地域変容」（仮）

報告に続いて、フィールドワーク参加者によるラウンドテーブル「水俣を学び福島を考える——そして川内へ」（仮）

司会：嶋原敦子（仙台高専）

⑤ 「平和教育」・「非暴力」分科会共催

テーマ：『『平和を創る心理学 第2版』（2014年3月、ナカニシヤ出版）から見る
平和・非暴力・紛争解決』

報告：杉田明宏 他 各章著者などと調整中

司会：伊藤武彦

⑥ 「ジェンダーと平和」分科会

テーマ：「大学でジェンダーを教えるということ」

報告：ロニー・アレキサンダー（神戸大学大学院）

報告：近江美保（長崎大学）

討論：調整中

司会：秋林こずえ（同志社大学）

⑦ 「発展と人間安全保障」分科会

報告：大平剛（北九州市立大学）「第2次安倍政権下におけるODA大綱の改定——国家安全保障戦略のもとでの人間の安全保障」

討論：高橋良輔（佐賀大学）

司会：原田太津男（龍谷大学）

⑧ 「難民・強制移動」分科会

報告：佐藤滋之（早稲田大学大学院／UNHCR）「自然要因による避難民に対するUNHCRの取り組み」

討論：調整中

司会：小泉康一（大東文化大学）

⑨ 「公共性と平和」分科会

報告：玉井良尚（立命館大学）「アメリカの軍事戦略に見る水インフラの破壊と国際人道法」

報告：横田匡紀（東京理科大学）「現代国際社会における地球環境ガバナンスの変容」（仮）

討論：濱崎宏則（長崎大学）

司会：調整中

⑩ 「平和運動」分科会

テーマ：「原発問題の複合的構造を問う——エネルギー、環境、人権、安全保障の絡まりについて」

報告：鳥原良子（川内原発建設反対連絡協議会）「川内原発は再稼働ではなく廃炉を決断するとき」

報告：藤岡 惇（立命館大学）「“ミサイル防衛”をどう考えるか——京都府経ヶ岬での米軍レーダー基地の建設をめぐって」

討論：福田忠弘（鹿児島県立短期大学）

司会：清水竹人（桜美林大学）

*なお、（仮）タイトル、（調整中）のものに関しては、随時、日本平和学会ホームページ（<http://psaj2014.jimdo.com>）上で情報を更新する予定です。プログラムとあわせてご覧下さい。